

2026年5月15日

丸紅アセットマネジメント株式会社
第一ライフ丸紅リアルエステート株式会社

第一ライフ丸紅リアルエステートグループの不動産私募ファンド
DMRE ファンド 2号追加組入れおよび3号組成のお知らせ

第一ライフ丸紅リアルエステート株式会社（代表取締役社長：金子伸一郎）傘下の丸紅アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長：横山禎之）は、第一生命保険株式会社（代表取締役社長：隅野俊亮）を主要投資家とする私募ファンド「DMRE ファンド」*について、2026年3月に組成した1号案件・2号案件に続き、同年4月に2号案件の資産追加組入れおよび3号案件を組成し、運用を開始しました。

*「DMRE」は「第一ライフ丸紅リアルエステート」の略称

DMRE ファンド 2号案件は、データセンター（所在地非公開）の優先出資持分の一部を投資対象資産として2026年3月に組成しましたが、今回当該2号案件に新たなデータセンターの優先出資持分を追加で組入れしました。DMRE ファンド 3号案件は、都内および千葉県の賃貸レジデンス合計6棟の信託受益権を投資対象資産とする私募ファンドです。今回2号案件への組入れ資産および3号案件の資産規模は合計約160億円であり、DMRE ファンドは1号案件から3号案件の累計で約660億円の資産規模となりました。

今回対象のファンドも豊富な投資実績を有する第一生命保険を主要投資家とし、その他、機関投資家をエクイティ投資家として組成に至りました。国内有数の運用実績を有する丸紅アセットマネジメントがアセットマネジャーを務めます。

DMRE グループは、生命保険会社が保有する資産運用・金融仲介機能と、総合商社が保有する幅広いネットワークや知見を通じて蓄積した実績やノウハウを融合し、スケールメリットを活かした持続的な成長と新たな価値創造を目指しています。その中で、DMRE ファンドは、アセットマネジメントを成長の主軸とするDMRE グループの象徴となるファンドであり、国内不動産バリューチェーンの強化・拡大を牽引する成長ドライバーとして位置付けられています。

今後は、賃貸レジデンスやホテル、オフィス、物流施設、データセンターなど多様な不動産アセットへの投資を検討するとともに、DMRE グループの開発物件の組入れも進めながら、投資家のニーズに合わせた多様な不動産運用商品を提供し、2030年度末までに4,000億円規模への拡大を目指してまいります。

以上